

鳥取県男女共同参画センター広報紙

さい

# よりん彩

第52号  
2016.8



大江ノ郷自然牧場(有)ひよこカンパニーで働く女性スタッフ  
(関連記事特集2・3ページ)

## 特集：六次産業化で 地域が輝く 女性が輝く

### 目次



●株式会社 兎ツ兎 (国府町)	P 2～P 3
●大江ノ郷自然牧場(有)ひよこカンパニー (八頭町)	
・よりん彩記念日フォーラム	P 4
・あなたのまちの男女共同参画 白野町	P 4
・きらり輝く 井上由美子さん (北栄町) 小倉 典子さん (若桜町)	P 5
・男女共同参画推進員紹介	P 6
・相談室・情報ライブラリー	P 7
・知る得コーナー	P 8

鳥取県男女共同参画センターの愛称「よりん彩」とは「ちょっと寄つていってくださいな」という意味の言葉で、気軽に利用していただきたい、老若男女いろいろな色(彩)を寄せ合って男女共同参画社会づくりの輪が広がつていってほしいという願いが込められています。

# 六次産業化で 地域が輝く 女性が輝く

最近、六次産業という言葉を耳にしますが、ご存じでしょうか？

## ●六次産業とは、

一次産業（生産）× 二次産業（加工）× 三次産業（販売） = 総合産業（六次産業）  $1 \times 2 \times 3 = 6$   
で六次産業

第一次産業である農林水産業が、農林水産物の生産だけにとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造・販売や観光農園のような地域資源を生かしたサービスなど、第二次産業や第三次産業にまで踏み込むことです。六次産業化は一次産業の振興や地域活性化を図る方策としてとても期待されています。

今回は、六次産業化に取り組んでおられる2社を訪問し、地域で輝く秘訣、女性の活躍を考えてみたいと思います。

ワインづくりからさまざまな人がつどい、つながれる場所作りを目指して  
始まりは義父から受け継いだ畠1a（5m×20m）のハウスから

**(株) 兎ツ兎** とつと  
(鳥取市国府町麻生178-11)



社長の **前岡美華子**さん にお話をうかがいました。



## 六次産業に取り組むきっかけは \_\_\_\_\_。

平成17年に夫のUターンに伴って、鳥取で暮らしはじめました。国府町といえば、ブドウ栽培が昔から盛んで、家族がワイン好きということもあります。ワイン用ブドウの栽培に取り組みました。義父がメロンを栽培していた1aのハウスに義父亡きあと生食用とワイン用のブドウを定植しました。当時ブドウを植えたいと伝えていた義父が、地元の種苗会社にブドウ苗の相談をしていたことを後で知り、励みになりました。

## 地産地消で鳥取の食材にあうワインを目指し \_\_\_\_\_。

「我が子に食べさせたいブドウ」をスローガンに有機栽培で農薬の使用をできる限り避けてブドウを栽培しています。あるがまま、なるがまま……「不揃いの美学」の合い言葉のもと、国府の風土で自然に仕上がった生食用のブドウと、露地栽培で病気に強くワインにしておいしい品種にこだわったブドウをつくっています。最終的には100%自家栽培したブドウを100%自家醸造し、鳥取の食材にあう自家製ワインを製造・販売することを目指しています。

## ワイン作りだけでなく 人と人のつながりを \_\_\_\_\_。

人と人のつながりはとても大切です。自分自身多くの人とのつながりに助けられています。さまざまなライフスタイルの人が集まりつながれる心地良い場所を創りたいという思いで「兎ツ兎ファーム」はできました。老若男女・障がいの有無・所属や社会的背景など一切の制約にとらわれることなく、人が集い、休み、また歩んでいくような、人が行き交う止まり木のような場所作りを目指しています。また、「鳥取ワインの会」を主催し、ワイン愛好家が集いワインを楽しむ会も企画しています。

## 醸造所を \_\_\_\_\_。

平成28年1月に法人化しました。今はまだ、醸造は他県のワイン醸造所に頼んでいるのですが、平成30年には、ブドウ畠のとなりに自社の醸造所を開設する予定です。更なる規模拡大と自家醸造を目指しています。



一人ひとりのワークスタイルを応援し、女性が輝く職場に！  
スタートは、平成6年の社長一人での出発。平飼い2,000羽のたまごから。



## 大江ノ郷自然牧場(有)ひよこカンパニー (八頭郡八頭町橋本 877)

マイク 企画・広報リーダーの 高木寛子さん にお話をうかがいました。

### 六次産業に取り組むきっかけは

平飼い養鶏を夢見て平成6年に創業し、平飼い自然卵「天美卵」の販売をスタート。創業当初はほとんど売れませんでしたが、少しずつ口コミが広がり地元の方に買ってもらえるようになりました。その中で規格外のものや売れ残りを無駄にしたくないという思いから、卵の味を活かしたプリンを作り始めました。平成8年より全国のお客様へ通信販売を始め全国へとファンが広がっており、現在の顧客は22万人にのぼります。そして、自然豊かな鳥取に来ていただきたいという思いから八頭町に直売所兼カフェもオープンしました。

### 原料は地域のものを。地元食材を中心とした商品作り

現在、八頭郡3カ所合計4万羽の鶏を6名で飼育管理しています。自然豊かな環境の中、平飼いでのびのびと育て、自家配合の天然飼料と地下水で育つ鶏が産んだ元気な卵を原料に使用しています。また、ここ鳥取の素晴らしい農産物をスイーツや商品づくりへと活用しています。4月にオープンした「農」と「食」をコンセプトとする「大江ノ郷ヴィレッジ」でありますます地域と共に活性化できたらと考えています。

### 多様な人材が活躍するために一人ひとりのワークスタイルを応援

スタッフ147名のうち女性が115名と多くの女性が活躍する職場です。それは産前産後の育児休暇や有給休暇の取得しやすさ、バースデー休暇、時短など、柔軟な働き方を実現でき、残業は午後8時までとするなど働きやすい環境になっているからです。

また、徹底した能力主義と女性職員に出産・育児があっても働きやすい環境が整っていることもあって、管理職であるマネージャーの8人中3人、それに次ぐチーフの6人中5人、また会社の企画を担うクリエイティブチームの5人中4人と女性が活躍する職場です。

職員は、次の4つ行動理念 S C S E [S (safaty : 安心安全) C (courtesy : 礼儀正しさ) S (show:表現) E (efficiency:効率)] に基づいた行動目標を立て、意識を向上しながら働いています。

#### 社員さんから一言



平尾 美樹 さん



6名で構成する飼育部門で、唯一の女性の飼育係です。高校時代から畜産や養鶏に興味があり、当社のことは意識していました。大学は農学部に進学。卒業後希望通り入社でき、Uターンして3年目になりますが、大学で学んだことや仕事をことを上司や先輩に色々と相談できる環境もあり、楽しく働いています。

### 取材を終えて

六次産業化に取り組んでおられる2社に共通しているのは、思い入れのある農産物を軸に、事業展開をされているということでした。自信を持って提供できる地産の製品を作り、更に地域の特性を活かした事業展開をされていらっしゃることから、地域愛を感じることができました。鳥取県には地域が輝く元となる豊かな自然の恵みがたくさんあり、素晴らしい女性たちがたくさんおられることが分かりました。そして、女性が事業に主体的に関わり、独自の視点と感性で推進していくことで自らもまぶしく輝き、周りの地域も輝かせていました。

# 男女共同参画にふれた一日 よりん彩記念日フォーラムを終えて

(よりん彩記念日フォーラム 2016)



男女共同参画社会の実現の拠点として平成13年4月によりん彩が開設され、翌年満一歳の記念日フォーラムから毎年4月に記念日フォーラムを実施してきました。

今年度は15回目を迎えました。「参画で創る未来は無限大」をテーマに4月24日（日）倉吉未来中心アトリウム、よりん彩等を会場に開催しました。

午前の第1部、DJ Yuta&Yuichi のシンセサイザー&ギターライブ、アカペラコンサート、ジャグリング＆バルーンアートのパフォーマンス、そして鳥取県西部地区に伝わる河童伝説をもとにした「河童ミュージカル」を上演する他、グルメコーナー、お手玉遊び、出張手作り隊によるワークショップ、また手話とクイズでスタンプラリー等も実施しました。

午後の第2部では、よりん彩主催の自分磨きセミナー「朗読劇『孤児とともに一ハ雲数枝の生涯』」、映画監督の松井久子さんによる講演会『人生は一度きり、自分らしく輝いて生きるために』を行い、多くの方に参加いただきました。

参加された皆さんも、楽しく交流を深め男女共同参画を学んでいただけた一日になったと思います。よりん彩記念日フォーラムは毎年実行委員を県内から広く募集しています。あなたのお力、アイディアで素敵なフォーラムの企画と一緒に考えてみませんか。お待ちしています。

よりん彩記念日フォーラム2016実行委員会 実行委員長 大月 悅子  
おおつき めつこ

## あなたのまちの男女共同参画

### ～市町村の取り組み～

日野町



県内の各市町村が男女共同参画の実現に向けてどのような取り組みをされているかご紹介します。

第7回は日野町役場企画政策課 宮本秀隆さんにお話を伺いました。

#### ◆取り組み

日野町では、平成25年3月に「第2次男女共同参画プラン」を策定し、男女共同参画の取り組みを進めています。同プランは、国や県の示す理念や目標を参考にしながら、日野町での住民意識、風土や伝統・文化などを把握し、町民にとって分かりやすく受け入れやすいものとなっています。

しかし、同プランの計画期間（平成29年度までの5か年）の中で、男女共同参画を取り巻く環境も変化してきています。女性活躍推進法の制定に始まるあらゆる分野での女性の活躍など、あらたな視点から男女共同参画を考えいくことが必要になってきます。

そうした中で、日野町の状況を見てみると、平成12年に発生した鳥取県西部地震やその後迎えた町の財政難を一つのきっかけに、住民主役の町づくりが進んできました。

金持神社を活かした町観光協会の取り組みやオシドリグループの活動、黒坂自主防災組織による災害に強い地域づくりなど町の魅力である自然や歴史、文化を生かした住民活動が特に活発化しています。

そしてこうした活動においても、女性が主役の一人としてまちづくりに参画してきました。今でも町内で開かれるさまざまなイベントで多くの女性が活躍し、町を盛り上げています。

#### ◆おすすめイベント

毎年秋に開催される日野町解放文化祭ではつくしんぼの会（男女共同参画推進会議ひの）の会員さんと町職員が朗読劇（人権劇）を披露し地域に男女共同参画の普及啓発を呼びかけています。

こちらもお楽しみに！

# きらり輝く

県内等で活躍している  
個人や団体を紹介します。

## 男も女も関係ない、やる気と根気があれば！



井上由美子さん（北栄町）

H27年12月に、23歳以下の技能者が技能レベルを競う第53回技能五輪全国大会日本料理の部で女性として初の金賞を受賞された日本料理「飛鳥」の調理師井上由美子さんにお話をうかがいました。

### ♥調理師になろうと思ったきっかけは？

高校生時の調理実習が楽しくて、短大の食物栄養専攻に進みました。求人募集でシティーホテルに就職したのがきっかけで、2年間の修行の後免許を取りました。

### ♥女性が少ない職で感じたことは？

料理人になる前は“男性ばかりの職場に入って女性1人でやっていけるのか”と不安に思うこともありました。しかしこの世界は、女性だからといって特別扱いはされません。男も女もないです。料理を作りたくて入ったのですからやっていけます。不便さは感じていません。

### ♥やりがいを感じるときは？

自分の作った料理をお客様が「おいしかったよ。」と声をかけてくださる時と、食べ終わられたお皿を見て完食してあると嬉しいです。

### ♥今後の目標は？

昨年は、刺身、酢の物などの「板」という役割をしていましたが、今年の1月から煮物を炊く「煮方」を任せています。5ヶ月経ちますが、食材によって煮る時間が違ったり、煮崩れしない方法があつたりするので、早く仕事を覚え、一人前の料理人としてお客様に喜んでいただける料理を提供できるようになりたいです。

## 諦めず、努力し続ければ夢は叶う。



小倉 典子さん（若桜町）

夫婦で若桜町の地域おこし協力隊に就任し、日本で6人目の現役のアメリカンフットボール選手として、アメリカのボストンレネゲーズに所属し、女子プロリーグでプレーされている小倉典子さんにお話をうかがいました。

### ♥アメリカンフットボールに興味を持たれたきっかけは？

小さい頃からアトピーとぜんそくで身体が弱く、中学3年のいろいろ悩んでいた時に、アメリカで有名なスーパー・ボウルの試合をテレビで見て衝撃を受けました。特にそのチームの中のテレル・ディビスという選手がキラキラと輝いて見え、自分も頑張ったら輝けるのではないかと思ったのがきっかけでした。

### ♥男子チームの中でのプレーはどうでしたか？

大学は、女子チームがなかったので、男子チームの中にひとり入れてもらってプレーしました。男性からの理解が大きく、体力的に男女の差はあったのですが、私のいいところを見つけたり、褒めたりしてくれたりしました。プレー以外でのコーチ業、プレイブック作りなど私ができることを尊重し、温かく見守ってくれました。そのことがアメリカでも活かされました。大学時代男女関係なくプレー等ができることができたことが大変嬉しく思います。あらゆる場面で男性・女性に関係なく一人の人間として活躍できるようになったら良いと思います。

### ♥夢をもう一度！

膝のケガが原因でアメリカンフットボールの選手になる夢を諦めていた頃、勤務していた小学校の児童が「どうせ自分の夢なんか叶わん。」と夢を諦めてしまっている姿を目にした時、思わず「諦めずに努力したら叶うかもしだれんよ。」と言った自分の言葉に自分自身もハッとして、頑張ったら夢が叶うということをただの言葉ではなく、実現可能な事として伝えなければと思いました。手術をして、リハビリに励み、1年後にはサクラメント・サイレンスに入団し、アメフト選手となりプレーしました。

### ♥ポジティブに

自分の夢を諦めそうになった時は、ポジティブに考えて少し休んでみたり、自分を伸ばすための工夫をしてみたり。どんどん挑戦し続け、夢を叶えていってほしいと思います。

男女共同参画の苦情は



# 推進員制度をご利用ください！

## 男女共同参画推進員とは

鳥取県男女共同参画推進条例に基づき男女共同参画に係る苦情や不服、意見を適切に処理するために設置された第三者機関です。公平、中立の立場で審査します。

### 推進員の方々を紹介します！

次の4人が男女共同参画推進員です。

- 入澤 博和さん（元会社役員）
- 衣笠 優子さん（食育推進活動団体代表）
- 田中 俊一さん（元人権教育推進員）
- 谷口麻有子さん（弁護士）



### 今までどのような申出がありましたか？

- 災害時に設置される避難所に女性スタッフを適正に配置して女性の人権に配慮していただきたい。  
県から市町村への働きかけをお願いしたい。
- 有給休暇や育児・介護休暇などの制度は整備されても、長時間労働やサービス残業が常態化して、  
出産・育児や介護をしながら働き続けることは困難な職場がある。県は、男女共同参画やワーク・  
ライフ・バランスが実際の労働現場で進展するよう取り組んでほしい。
- 鳥取県において、離婚後の親子面会交流を支援する制度を創設してほしい。

### 苦情の申出はどのようにしたらよいですか？ その後の対応は？

- よりん彩に申出書用紙がありますので窓口にご相談ください。
- 推進員は、申出者のお話をしっかり伺い、県の担当課に対して調査を行います。男女共同参画の  
視点から申出内容を検討し、必要がある時は、是正・改善の措置を講ずるよう県に勧告し、また  
は意見を公表します。

- 推進員への苦情申出は、個人のものであっても、それがきっかけで県の制度が改善されれば、県民全体  
への効果が生まれます。推進員制度は、鳥取県の男女共同参画社会を実現していく上で重要な意味を持つ制度です。

※申出はファクシミリやEメールでもできます。

【申出・問合せ先】鳥取県男女共同参画センター “よりん彩”

〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町212-5

(電話) 0858-23-3901

(ファクシミリ) 0858-23-3989

(Eメール) yorinsai-moushise@pref.tottori.jp



## よりん彩相談室

夫婦・パートナー

職場

近隣、地域

家族・親族関係

## “尊重のある、いい関係”について一緒に考えています 気軽にご相談を！

昨年度寄せられた最も多かった相談内容は、「離婚を考えている」「養育費や面会交流はどう取り決めたらいいのか」など子どもを連れての別居・離婚に関することや、「夫婦で子育てや仕事の両立の話し合いができない」「一緒にいるのが怖い」など固定的性別役割分担意識やDV、モラルハラスメントなどの支配関係に関する悩みなど「夫婦関係の悩み」で女性・男性とも全体の3~4割を占めています。そして、これは長年の傾向でもあります。

夫婦関係や家庭生活の中で、どちらか一方だけが疑問や不安、辛さを抱え続けている、気持ちを適切に表現できず互いを傷つけているなど、夫婦が共に考え共に信頼関係を築くコミュニケーションが取れなくなっている状況もみえてきます。

パートナーや家族はもちろん、職場や地域などさまざまな関係の中で「つらい」「うまくいかない」「なんだろう…」そんな思いがよぎったとき、気軽にご相談いただける場所が“よりん彩相談室”です。

少しでも早い相談で「自分も相手も大切にした尊重のあるいい関係」について知ることは、固定的な性的役割分担意識などに縛られない自分らしい生き方を考え、解決の選択肢を広げることにもつながっています。関連図書の貸出もありますので、情報を得ることも可能です。

あなたの近くに相談室があります。電話でも面接でもOKです、ぜひご利用ください。

●センター相談室（倉吉未来中心 男女共同参画センターよりん彩内）：0858-23-3939

●東部相談室（県庁第2庁舎 1階）：0857-26-7887

●西部相談室（米子コンベンションセンター 4階）：0859-33-3955

## “情報ライブラリー” おすすめBOOK

## ～ひとりひとりの 豊かな人生のために～

仕事、家庭、地域社会など、さまざまな活動の中で、個性と能力が発揮できる充実した生活を送りたい！すべての人が自分らしく、のびのびと生きられる社会づくりを考える本を紹介します。

### 「暮らしの手帖」とわたし

大橋鎮子／著　暮らしの手帖社　2016年

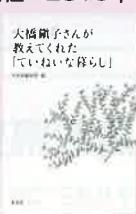
NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」ヒロインのモチーフとなった、大橋鎮子の唯一の自伝本です！家族のために「知恵を売る仕事」を選んだ著者は、女の人に役立ち、暮らしに少しでも楽しく豊かな気分になるような、衣食住を取り上げる雑誌を作り始めます。



### 大橋鎮子さんが教えてくれた「ていねいな暮らし」

洋泉社編集部／編　洋泉社　2016年

流されず、たおやかに、自分らしく生きるには…30代・40代・50代・60代・70代の“生活の達人”たちが、「暮らす」を見つめ、「生きる」を考える名作エッセイ『すてきなあなたに』がくれた心豊かに、幸せに生きるためにのヒントです。



### 異世界とチートな農園主

浅野明／著　アルファポリス　2015年



元引きこもりの主人公が、異世界に行ってブレイキキャラの少女リンとして、かねてからの夢の農業を。しかし、平穀に過ごせるはずもなく……。

2015年、同作にて出版デビューした、鳥取県江府町在住の作者が描くほのぼの農園開拓ファンタジーです。

### 仕事と家族　日本はなぜ働きづらく、産みにくいか

筒井淳也／著　中央公論新社　2015年

男性中心の労働環境のため女性が活躍しづらく、少子化が深刻な日本。一方、「大きな政府」を代表するスウェーデンと「小さな政府」を代表するアメリカは正反対の国と思われがちですが、実は働く女性が多く、出生率も高いという点で共通しています。それはなぜか。歴史的な視点と国際比較を通じて日本の現在地を示し、目指すべき社会を考えます。この国で働き、家族と暮らす全ての人へのメッセージです。



### 利用の ご案内

- 貸出点数—図書10冊、ビデオ2点
- 貸出期間—3週間
- 団体貸出—100冊、8週間の貸出ができます。

- よりん彩ホームページや「鳥取県図書館横断検索」で資料がさがせます。
- 県立図書館や市町立図書館に申し込めば、取り寄せができます。

# 知る得コーナー

## 共同参画時代の自分磨きセミナー【講座】

**日 時** 9月29日(木) 13:30~15:30

**場 所** 青翔開智中学校・高等学校体育館  
鳥取市国府町新通り3-301-2

**内 容** テーマ「LGBTってなんだろう?」  
講師／特定非営利活動法人 ReBit

**主 催** 虹色らくだ

## 共同参画時代の自分磨きセミナー【講座】

**日 時** 9月22日(木) 13:30~18:00

**場 所** 赤崎地区公民館 調理室  
琴浦町赤崎1547-5

**内 容** 男の料理教室  
旬の魚や肉を使った料理

**主 催** 赤崎男の料理教室

## 男女共同参画推進人材育成協働事業【講座】

**日 時** 11月23日(水) 午後を予定  
11月24日(木) 午前を予定

**場 所** 11/23 中部会場を予定  
11/24 西部会場を予定

**内 容** テーマ「災害時に障がい者として  
女性として生きるということ」  
～現状とこれからのあり方を考える～  
講師／松波めぐみさん（大阪市立大学非常勤講師）

**主 催** みーふあいゆー

## よりん彩活動支援事業【公開講座】

**日 時** 8月20日(土) 13:30~15:30

**場 所** 琴浦町生涯学習センター 4階 多目的ホール  
琴浦町徳万266-5

**内 容** テーマ「LGBTトランスジェンダーってなに?」  
講演「性別って2つだけ?」  
講師／峰山和真さん（一般社団法人ELLY 理事）

**主 催** 琴浦町男女共同参画推進会議

よりん彩では県民のみなさまが企画運営される活動に対して、次のような支援を行っています

## よりん彩活動支援事業補助金事業

県内で活動する団体やグループ、企業、若者グループが、男女共同参画を学ぶ目的で、自ら企画・運営する講演会や学習会等に対して補助金を交付します。

### \* 公開講座／上限12万円

広く一般に公開し、50名以上の参加者が見込める講座

### \* 若者企画講座／上限5万円

県内の学生や若者が企画し、一般へも参加を呼びかける講座

### \* 研修支援講座／上限2万5千円

自治会、企業、PTA等の団体が開催する学習会や研修会

### \* 調査研究等事業／上限15万円

調査研究の成果を県民に還元できるもの

## 鳥取県男女共同参画センター よりん彩

〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町212-5 倉吉未来中心1階

電話(代表) 0858-23-3901 FAX0858-23-3989

HPアドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/yorinsai/> 電子メール [yorinsai@pref.tottori.jp](mailto:yorinsai@pref.tottori.jp)

「よりん彩」は県民皆さんの施設です。お気軽に立ち寄りください

### センター相談室(倉吉：よりん彩内)

電話：0858-23-3939

火曜日～日曜日 午前9時～午後5時

土、日、祝日可(月曜日が祝日の場合は翌日が休み)  
専門相談(臨床心理士による心の相談・法律相談)  
も行っています。各相談室にお問い合わせください。

### 東部相談室

(県庁第2庁舎1F)

電話：0857-26-7887

月曜日～金曜日 午前9時～正午、午後1時～5時  
(第3木曜日は午前9時～11時30分)

### 西部相談室

(米子コンベンションセンター4F)

電話：0859-33-3955

男性相談員が対応する男性一般相談は毎週土曜日です。(センター相談室)  
電話：0858-23-3955 相談日時：毎週土曜日 午後1時30分～5時30分

※広報紙「よりん彩」へのご意見、ご感想などをお寄せください。次号は平成28年12月発行予定です。  
よりん彩ネット・電子メールの配信をご希望の方はよりん彩メールアドレスへご連絡ください。